■正しくお使いください

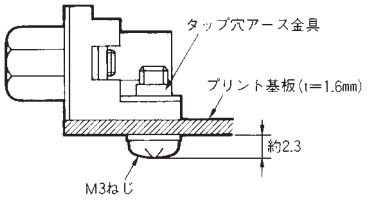
使用上の注意

●アースの処理方法

アースは基板のコネクタ取りつけ穴の周囲に銅箔を設けて、コネクタとアース金具を組み立てた後、下記のようにして、はんだディップしてください。

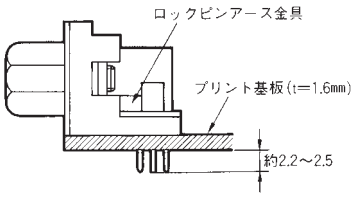
・タップ穴アース金具の場合

コネクタをプリント基板に挿入し、ねじ締めを行った後、コネクタの端子をプリント基板にはんだディップしてください。



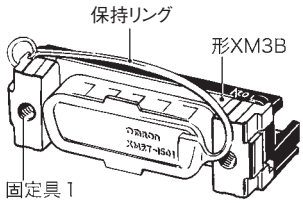
・ロックピンアース金具の場合

コネクタをプリント基板に挿入し、コネクタの端子とロックピンを同時にプリント基板にはんだディップしてください。



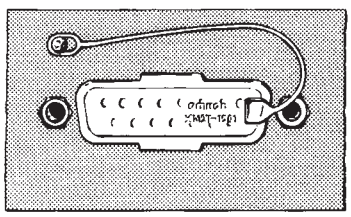
●ダストカバーの取りつけ

・保持リングをコネクタに取りつける場合、固定具1を使用し、下記のように取りつけてください。



・保持リングが不要の場合は、カットしてお使いいただくか、保持リングなしのタイプをお使いください。

・保持リングをパネルに取りつける場合、パネルにダストカバー取りつけ用のタップ穴(M3)を加工してください。M3ねじは、市販品をお使いください。



●クランプねじの締めつけトルク

ケーブルクランプをフード本体に取りつける場合、下表のような締めつけトルクでクランプねじを締めつけてください。

締めつけトルク(N・m)

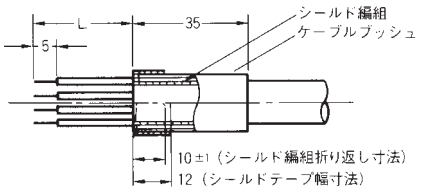
9極タイプ	15極タイプ	25極タイプ	37極タイプ
0.25	0.44	0.49	

●かん合について

コネクタを逆向きにかん合しないでください。コネクタが破損します。

●シールドケーブルの処理方法

シールドケーブルをコネクタにはんだづけしフードを使用する場合、下記を参照してください。



寸法 極数	L(mm)
9	25
15	35
25	40
37	45

①ケーブルブッシュの上にほぐしたシールド編組を折り返します。
②その上からシールドテープを巻きつけます。

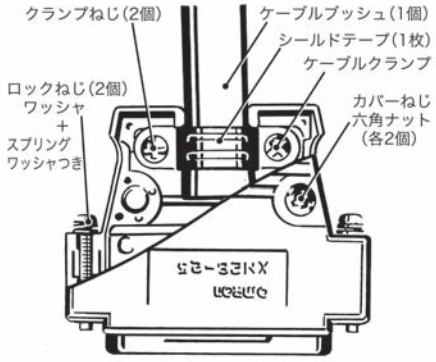
●固定具・アース金具の締めつけトルク

固定具をコネクタ本体に取りつける場合やアース金具をねじで固定する場合は0.49N・mで締めつけてください。また、適切なサイズの工具にて作業を行ってください。

●シールド効果を得るために

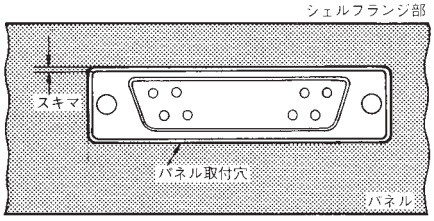
・ケーブルのシールド編組をコネクタのフードに接続する場合は、シールドテープを介して、ケーブルクランプに一括して締めつけてください。

・フードを組み立てるときは、ロックねじのワッシャとスプリングワッシャを外に出した状態ではめ合わせてください。



・コネクタをパネルに取りつけるときは、シールド効果を得るためにコネクタのシェルフランジ部と金属パネル面との接続面積をできるだけ大きくするようにしてください。

・ソルダーカップ端子の場合、コネクタのアースはシェル部(外側の金属)に落ちていますので、パネルまたは基板アース部に接続してください。



●コネクタ(形XM3A、形XM3D)の挿抜について

・コネクタの挿抜を行うときは、本体またはフードカバーを持って挿抜してください。特に抜去時に電線を持って引っ張り抜くことはやめてください。

●自動はんだ

自動はんだづけ条件(噴流式)について(形XM3B、形XM3C、形XM3F)

(1)はんだ温度 250±5℃

(2)連続はんだ時間 5±1秒以内